



鈴木 一夫 議員

スポーツ村周辺の再開発を 予定はありません



Q 町民に親しまれる施設として、野球場、陸上競技場及びトレーニング室があります。総合支援センターも設置され本町の重要な複合施設となりました。いっそう親しまれる施設とするために以下6点を伺う。

- ①野球場の年間使用日数と主な利用者。
- ②同じく競技場。
- ③坂部方面より進入する町道一〇号線の見直し。
- ④競技場6レーンから8レーンにする場合の費用と効果。
- ⑤スポーツ村の自然豊かな散歩道の整備。
- ⑥さらに町民に親しまれる工夫は。



A ①平成20年度の使用日数は121日、県高校野球連盟、社会人・学校野球部等です。

- ②使用日数は159日、県・知多・町サッカー協会、学校サッカー部、社会人・学校陸上部などです。
- ③この道路計画の見直しは、現在のところ考えていません。
- ④概算で約5,700万円です。既設の障害池、外周ジョギングコースなどを撤去することになります。大会を開催した場合に競技時間の短縮ができ、多くの方の参加が可能になります。
- ⑤現在のところ事業化の予定はありません。
- ⑥周辺地域を含めて健康・スポーツゾーンとして整備することができれば、さらに親しまれるものと思います。



あぐびっぴ運動会

調和の中で豊かに実るまち阿久比をめざして

各事業を推進



Q 調和の中で豊かに実るまち阿久比の実現は、自主財源の確保からも重要であり、避けては通れないまちづくりの基本であると認識しています。

- ①市街地拡大による豊かなまちづくりについて。
- ②阿久比町基幹道路整備について。
- ③中断している土地改良事業について。
- ④産業立地基本方針工場立地推進について、町長が目指そうとしている5つの安全、安心、安定のうち特に社会基盤の整備充実について。自己評価とリーダーとしての今後の方向、方針を伺う。



A ①22年度の線引き総見直しに役場周辺地区8ヶ所を市街化区域に編入予定しています。町の市街化率は17・7%になります。

- ②町の都市計画道路総延長は27・4kmで、56%が完了済です。今年度知多西尾線が完成予定で、改良率60%を見込んでいます。
- ③阿久比・矢高地区の土地改良事業は、平成21年10月に準備委員会を設立しました。また宮津・大矢知地区の土地改良事業は、事業内容等の勉強会を兼ねた準備委員会を開催しています。今後とも、両地区の事業を一層推進していきます。
- ④工場立地の推進は、第5次総合計画の策定の中で検討するとともに、阿久比・矢高、宮津・大矢知地区の両土地改良事業を推進し、工業用地の確保を図り、企業立地促進法に基づく集積業種の企業誘致を推進します。